

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【公開番号】特開2009-116175(P2009-116175A)

【公開日】平成21年5月28日(2009.5.28)

【年通号数】公開・登録公報2009-021

【出願番号】特願2007-290859(P2007-290859)

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 G 9/08 3 3 1

G 0 3 G 9/08 3 8 1

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月27日(2010.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

結晶性ポリエステル及び非晶質樹脂を主成分として含有する結着樹脂を溶融混練する工程、及び前記工程で得られた溶融混練物を加熱処理する工程を含む静電荷像現像用トナーの製造方法であって、前記結晶性ポリエステルが下記(A)～(C)を満たす、静電荷像現像用トナーの製造方法。

(A) 数平均分子量が5,000～10,000、

重量平均分子量が40,000～150,000、

示差走査熱量計における吸熱の最高ピーク温度が110～140、及び

軟化点と前記吸熱の最高ピーク温度の比(軟化点/ピーク温度)が0.8～1.2

である

(B) 結着樹脂中の含有量が1～35重量%である

(C) α 、 ω -直鎖アルカンジオールと脂肪族ジカルボン酸化合物との縮重合物である

【請求項 2】

加熱処理する工程を50～80の温度で3～80時間行う、請求項1記載の静電荷像現像用トナーの製造方法。

【請求項 3】

加熱処理後の溶融混練物の結晶化率 Y が、加熱処理前の溶融混練物の結晶化率よりも大きく、かつ、結着樹脂中の結晶性ポリエステルの含有量を X (重量%)とした場合、下記式(i)を満たす、請求項1又は2記載の静電荷像現像用トナーの製造方法。

$$14/5 \times X \quad Y \quad (i)$$

【請求項 4】

非晶質樹脂が、ビスフェノール A のアルキレンオキシド付加物を90～100モル%含有するアルコール成分と、芳香族カルボン酸化合物を90～100モル%含有するカルボン酸成分との縮重合により得られるポリエステルである、請求項1～3いずれか記載の静電荷像現像用トナーの製造方法。

【請求項 5】

さらに、加熱処理する工程で得られた処理物を粉砕する工程を含む、請求項1～4いずれか記載の製造方法。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 いずれか記載の製造方法により得られる静電荷像現像用トナー。